

研究課題名	子宮動脈塞栓術後の妊娠における周産期合併症に関する検討
研究の意義・目的	<p>子宮動脈塞栓術（uterine artery embolization; UAE）は弛緩出血や癒着胎盤など産後出血に対して、カテーテル治療で子宮動脈を塞栓し止血を行う治療方法であり、妊孕性を温存することができる。UAE 施行による次回妊娠の影響については不明な点も多いが、癒着胎盤等のリスクが高くなることが報告されている。</p> <p>癒着胎盤は産後大量出血の原因の一つであり、母体死亡を来しうる疾患である。癒着胎盤の分娩前の診断補助として超音波検査、MRI検査を使用するが、確定診断は困難である。本研究ではUAEの癒着胎盤に対するリスクを評価することで癒着胎盤とUAEの関連を明らかにし、癒着胎盤の分娩前の診断率の向上や高リスク症例の判別を可能とすることを目的とした。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2024 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2015 年 1 月～2024 年 3 月に大阪公立大学医学部附属病院の女性診療科で、妊娠 22 週以降に分娩された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報：</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 患者基本情報：年齢、身長、体重 ② 周産期事象：妊娠回数、妊娠方法、周産期合併症 ③ 周術期情報：分娩方法、分娩週数、出血量 ④ 新生児情報：出生体重、Apgar score、NICU入院の有無
試料・情報の 提供を行う機関の名称 及びその長の氏名 (提供元について)	<p>機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学</p> <p>機関の長の氏名：理事長 福島 伸一</p>
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	研究責任者：大阪公立大学医学部附属病院 女性診療科 三枚 卓也
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	<p>この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科女性生涯医学のみで行います。</p> <p>【研究責任者】三枚 卓也</p>

本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 女性診療科 担当者氏名：三枚 卓也 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：t-misugi@omu.ac.jp